



## 世界のトップが成果発表

JFCC  
国際シンポ

国際シンポジウムのオープニングセレモニー

「最先端の顕微鏡と理論計算に関する第2回国際シンポジウム」を開催した世界

からトップレベルの科学者、技術者約300人が参加して行なうもので、26日まで講演会やレセプションなどを実施する。

同日はオープニングセレモニーのうち、名城大学教授の飯島澄男氏の講演でスタート。テーマは「原子分解能電子顕微鏡により明らかにされるナノ材料のダイナミックプロセス」で、来場者らは熱心に聞き入っていた。

シンポジウム期間中は、ワシントン大学教授のJ・W・カーソン氏、東大教授でナノ構造研究の幾原雄一氏ら内外の研究者が講演を行ない、各研究成果を発表する。